

○ 新型コロナウイルス感染症濃厚接触者に対する休業支援について
○ 食品ロス対策のお持ち帰り専用容器について

その他の質問

・全天候型遊び場整備について ・リモートワーク者のためのサテライトオフィスについて ・レジ袋を市の指定袋として作成することについて

下道恵子 議員
市政会



議 新型コロナウイルスのオミクロン株の感染が、市内でも小・中学校で増えている。子どもの感染で保護者が濃厚接触者と判定された場合、7日間の自宅待機が求められるが、そんな場合に市職員にはどんな休業支援があるのか。
また、市内事業所には、濃厚接触者の対応についての周知しているのか。

理 市職員本人が検査陽性者、濃厚接触者となった場合や同居家族、同じ職場の職員等が濃厚接触者となった場合、発熱等の風邪症状が見られる場合で勤務しないことがやむを得ない場合、小中学校等の臨時休業等で子の世話をを行うために勤務しないことがやむを得ない場合については、特別休暇として取り扱っている。
また、国の支援制度については、市ホームページなどにより、今後も機会を捉えて周知していく。

議 まだ食べられる食料を大量に廃棄したりする「食品ロス」の削減は、ごみの焼却を減らすことにつながる。普段から必要な分だけ買って食べることや、外食した際には残り物をパックに詰めて持って帰ることも効果がある。
そこで、「お持ち帰り専用容器」を市で作成して、各料理店に置いてもらうのはどうか。

理 食品の持ち帰りには、調理する飲食店側で持ち帰り可能な食品を指定する必要があるが、明確な基準がなく、個々の飲食店の判断に委ねられている実情や持ち帰った食品による食中毒が発生した場合の責任など、いくつか課題がある。そのため、当面は利用者と飲食店の双方がそれらの点を理解したうえで行っていただきたい。

飲食店にはハーフサイズの設定や注文時に量を確認するなど、市民には食べきれない範囲での注文を徹底していただくようお願いしていく。

○ 中学校の再編問題について
○ 中央公園の有効活用について

その他の質問

・勝山ニューホテルの譲渡について

高間清一 議員
市民の会



議 3つの中学校を1つに統合し、勝山高校の敷地内に新しく建設する。当初の計画の5階建てから3階建てに変更したことによって、高校と併用しなければならぬ教育施設や特別教室、また体育館やグラウンドの併用など高校生の利用が制約されることはないのか。

また、地下通路の建設などを含む建設予算規模はいくらになるのか。

理 建設費については、校舎本体と渡り廊下や駐車場・駐輪場などの整備もあり、今後具体的な構造や仕様などを決める基本計画から基本設計の段階で概算をお示しすることになる。基本計画を定めるまでの過程において、市議会とも十分にご相談しながら進めることとする。

また、地下通路についても、来年度に事前調査を実施し、その後、設計作業に入る。そつした段階でお示しいたい。

共用する教室等の使用に当たっては、中高相互のカリキュラムを調整することで高

校生の利用に支障はないと考える。また、体育館やグラウンドの共用も体育の授業には問題なく、部活動もジオアリーナや長山公園グラウンド等の活用も含めて調整すること、高校生への制約は出ないと考える。

議 教育会館および市民会館でのイベントや催しものなどで、勝山市の活性化にもなり、大変良いことだと思いが、駐車場がないと市民からよく苦情を聞く。
そこで、中央公園の一部を駐車場にしてはどうか。

理 教育会館や市民会館でのイベントや催し物が行われる際に、駐車場が不足している課題は認識しており、対応できる施設整備が必要と考えている。

公園全体の再整備には、整備事業費も大きくなることから、国の交付金活用を視野に入れ、令和4年度中の事業計画策定に向けて子育て世代の意見を伺いながら議会に諮って進めていく。